

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	学校保健検診事業			会計	款	項目	大	小
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	学校教育課			
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	遠藤 由樹			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	小中学校児童生徒及び教職員等	意図	児童・生徒・教職員等の疾病の予防、発見
事業内容	児童・生徒を対象に、眼科、耳鼻科・咽喉科、歯科、尿、心臓、その他の検診を実施。教職員を対象に、定期健診、胃部X線検診、大腸疾患検診、前立腺がん検診を実施。			
事業開始から現在までの状況変化	学校保健法施行により開始された。 児童・生徒・教職員について、受診率はほぼ100%であり、健康管理が図られている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	児童生徒健康診断受診率	99.20	99.30	99.40	%
②	教職員健康診断受診率	95.50	94.20	94.90	%	→→	校務等の調整がつきにくく、日程等の工夫が必要である。
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）  
学校保健安全法で義務付けられており、児童・生徒はほぼ全員が受診できている。教職員に関してはほぼ全員が受診できている。

事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	26,382,152	27,248,359	30,152,577
事業費(b)(円)	21,644,952	22,219,059	25,230,377
うち一般財源	21,644,952	22,219,059	25,230,377
職員給与費(c)(円)	4,737,200	5,029,300	4,922,200
人役・職員(人)	0.60	0.70	0.70
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)	0.20	0.20	0.20
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	健康診断の実施方法を工夫して授業時数を確保し、教職員の負担を軽減する。	③取組の課題	児童・生徒数の増加に伴い、学校医を適切に配置しなければならない。職員の受診資格と受診可能項目を明確にし、周知させる。実施時期と実施内容を周知して把握する。
②今年度(H29)に実施した取組	健康診断が無理なく実施できるよう、学校との日程調整を行った。	④今後(H30以降)の改善計画	特に児童生徒数が増加し学校医の多くいる学校について、スムーズに受診できるよう日程調整を行う。